

問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
<p>1</p> <p>[問 9]</p> <p>配点 6 点</p>		<p>○点Aを通り、直線 l に垂直な直線を引いている。</p> <p>○直線 l に垂直な直線と直線 m との交点 P が正確に示されている。</p>
<p>2</p> <p>[問 2]</p> <p>配点 7 点</p>	<p>重ね合わせた部分の面積は、n^2 枚の紙を使って作った正方形の面積から、重なり合っていない部分の面積を引いて求めることができる。</p> <p>n^2 枚の正方形の紙を縦と横にそれぞれ n 枚ずつ並べて作った大きさの異なる正方形の1辺の長さは $(2n+1)$ cmとなる。</p> <p>また、重なり合っていない部分をまとめてできた正方形の1辺の長さは $(n+2)$ cmとなる。</p> <p>よって、重ね合わせた部分の面積は、</p> $P = (2n+1)^2 - (n+2)^2$ $= 3n^2 - 3$ $= 3(n^2 - 1)$ <p>$n^2 - 1$ は整数であるから、$3(n^2 - 1)$ は3の倍数である。</p> <p>したがって、 Pの値は3の倍数になる。</p>	<p>○正方形の紙同士を重ね合わせた部分の面積を n を用いた式で適切に表し、式の変形をすることにより、Pの値が3の倍数となることについて、推論の過程が的確に示されている。</p>
<p>4</p> <p>[問 2]</p> <p>①</p> <p>配点 7 点</p>	<p>等しい弧に対する円周角は等しいから、 $\angle BPC = \angle BQC \cdots (1)$</p> <p>仮定から、$CP \parallel QS$ より、 平行線の同位角は等しいから、 $\angle BPC = \angle BSQ \cdots (2)$</p> <p>(1), (2) より、 $\angle BQC = \angle BSQ \cdots (3)$</p> <p>仮定から、$BP \parallel CQ$ より、 平行線の錯角は等しいから、 $\angle BQC = \angle SBQ \cdots (4)$</p> <p>(3), (4) より、 $\angle BSQ = \angle SBQ$</p> <p>よって、$\triangle BSQ$ において、 2つの角が等しいから、 $\triangle BSQ$ は二等辺三角形である。</p>	<p>○正しいと認められる事柄について、根拠を明確に記述し、仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。</p>

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・「○○と△△が書かれている。(3点)」「○○が書かれている。(2点)」「△△が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。